

選択したシラバスのプレビュー画面です

平成27 年度

[↑ 操作ボタン](#)
講義科目名称 : **日本語学概論Ⅱ**授業コード : **24008**

英文科目名称 : ---

開講期間	授業形態	単位数	科目必選区分
後期	講義	2単位	
曜日時限			
後期: 火曜4限			
配当学科・学年			
教育1			
担当教員			
大槻 美智子			

授業テーマ	日本語の特徴に関する知識を獲得し、日本語への理解を深める。
講義概要	国語科を担当する教師として知っておいて欲しい〈日本語の特徴〉を学びます。 特に、後期は、①漢字の成立や特徴、②日本語の国字政策と表記について、その基礎を学びます。
到達目標	1 漢字の成立について理解し説明できる。 2 部首・音訓の由来・漢和辞典の読み方についての知識を獲得し説明できる。 3 国字政策を通して、日本語の表記法についての知識を獲得し説明できる。 4 漢字制限の歴史についての知識を獲得し説明できる。
評価方法	各トピック終了時に課す課題・小テストによって評価する（40%） 定期試験の結果で評価する（60%）。
評価基準	1 漢字の成立原理を説明できる。 2 漢字の部首・音訓・漢和辞典の読み方に関して説明できる。 3 国字政策を通して、日本語の表記法について説明できる。 4 漢字制限の歴史について説明できる。
テキスト	特に指定しない。
参考書	阿辻哲次 2003『漢字のはなし』岩波ジュニア新書 阿辻哲次 2004『部首のはなし1・2』中公新書 円満字二郎 2008『漢和辞典に訊け!』ちくま新書 その他、随時紹介する。
履修上の注意	板書しなくても、説明の言葉はノートをとること。 内容が盛り沢山なので、きちんと復習して消化するように努力すること。
準備学習	講義後によく復習すること。
オフィスアワー等	授業終了時、およびコメントカードへの記入で対応する。
備考・メッセージ	日本語に関する基礎的知識を学習するので、「学校教育専攻」の学生は履修して下さい。 中等教育実践コース、学校教育臨床コースの選択必修科目です。

授業計画						
回数	授業形態	担当教員	授業内容	到達目標		
1	講義	大槻	オリエンテーション 文字とは何か。 シラバスの熟読 講義の進め方	文字の特徴について理解する。 シラバスを熟読して、講義の目標・進め方・受講者評価について理解する。 文字の種類について知る。		
2	講義	大槻	日本語の文字（1） 漢字の成立	「六書」の内容を理解する。		
3	講義	大槻	日本語の文字（2） 漢字の成立	「六書」を文字生成の原理として捉え、他文明の文字生成のあり方に適応できる。		
4	講義	大槻	日本語の文字（3） 漢字の音	日本の漢字音の種類を知る。 それぞれの種類（呉音・漢音・唐音・慣用音など）について説明できる。		
5	講義	大槻	日本語の文字（4） 漢字の音	湯桶読み・重箱読みについて説明できる。 熟字訓を知る。 同音漢字・同訓漢字の存在を知る。		
6	講義	大槻	漢和辞典を読む	漢和辞典に掲載されている内容を読み取ることができる。		
7	講義	大槻				

			「日本語の文字」「漢和辞典」の まとめ	〈漢字〉についての内容に関する課題に対して、まとめて述べることも、質疑応答を行い、知識を定着させる。		
8	講義	大槻	日本語の表記（１） 漢字制限と その歴史	明治以来の漢字制限に対する歴史を知る。		
9	講義	大槻	日本語の表記（２） 常用漢字表の成立 とその問題 点	常用漢字表成立の意義とその問題点について理解する。		
10	講義	大槻	日本語の表記（３） 字体と字形	字形と字体の違いについて知る。 常用漢字表に記されている、手書き文字の特徴について理解する。		
11	講義	大槻	日本語の表記（４）現代仮名遣い の原則	「現代仮名遣い」の原則を理解する。 「現代仮名遣い」の例外について理解する。		
12	講義	大槻	日本語の表記（５）ローマ字	「ローマ字のつづり方」の内容を理解する。 「ローマ字のつづり方」に従って表記できる。		
13	講義	大槻	日本語と文化（１）	文字遊びの歴史について理解する。		
14	講義	大槻	日本語と文化（２）	十干十二支・五行思想と日本語との関係について理解する。		
15	講義	大槻	「日本語の表記」「日本語と文化」 まとめ	国字政策と表記に関する課題に対して、まとめて述べることも、質疑応答を行い、知識を定着させる。		

授業方法					
	学習方法	場所	教員数(補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
	講義	教室	1	資料を配布する	90分×15

閉じる